

地域のみな様と、私たちをむすぶ広報誌



公立南丹病院

Nantan General Hospital

Vol.11

2011.10
Autumn



京都府立医科大学医学科5学年(17名)、看護学科4学年(4名)の計21名が、地域医療教育推進事業(GPプログラム)として9月5日～9日までの5日間の実習を終えた。当院を拠点に、京丹波町の地域医療や在宅介護の現場を体験し、社会福祉法人「長生園」などの施設見学・講演を通じて、京都府北部地域における地域医療やチーム医療における医療者の姿勢や役割を学んだ。写真は9月9日、すべてのプログラムが終了した学生と当院の担当スタッフ(病院正面玄関にて)。

医学生と看護学生が臨床現場における実習を合同で体験

Contents

ICLS コースを開催しました	2
薬剤師の仕事	2
緩和ケアの充実をめざして	3
公立南丹看護専門学校紹介	4
シリーズ 部門紹介 【第2病棟2階東】	5
みんなのリハビリテーション 自助具紹介…箸・食器など	5
業務改善委員会より 【患者さまからのご意見・ご感想】	6
医療費豆知識 【限度額適用認定証】	7
治療食(腎臓病食)のご紹介	8
編集後記	8

予防医学の重要性

院長 かじ た よしひろ 梶田 芳弘

9月初旬に日本を襲った台風12号は、記録的な豪雨により、近畿地方特に紀伊半島で猛威をふるいました。死者、行方不明者が計91人に及ぶ大災害となりました。謹んで被災者の皆様方へ、お見舞い申し上げます。

文明や科学が発達しても、毎年のようにやってくる地震、台風、豪雨など、自然現象による災害を制御することはできません。

医療も同様で、すべての病気を治癒させることは不可能です。そのためにも予防医学が重要です。地域や職場での検診や人間ドックを積極的に受け、疾患の早期発見、早期治療をこころがけることが重要と思います。



臨床研修指定病院 京都府がん診療連携病院
救急指定病院 日本医療機能評価機構認定病院
へき地医療拠点病院 第二種感染症指定医療機関
地域周産期母子医療センター 地域災害医療センター

公立南丹病院
発行：公立南丹病院広報委員会
〒629-0197 京都府南丹市八木町八木上野 25 番地
TEL 0771-42-2510 FAX 0771-42-2096 <http://www.nantanhosp.or.jp>

ICLS[※]コースを開催しました

循環器内科部長兼救急部長 計良 夏哉^{けいら なつや}



当院第2病棟5階の講堂において、9月11日（日）の一日かけて医療従事者向けの救急蘇生（二次救命処置）の研修会を開催しました。本コースは日本救急医学会の認定コースであり、明治国際医療大学との共同開催で平成19年に発足して以来、今回が6回目で当院では昨年に引き続いて3回目の開催になります。

18名の受講者に対して、京都府内から23名もの看護師、医師、救急救命士などが指導者として来院し、南丹病院のスタッフとともにボランティアで運営を支えました。これまでより受講者は公募を行っており、今回も南丹・明治の主催2施設以外の近隣の医療施設等からも多くの職員に研修会に参加していただきました。

公立南丹病院憲章には「8.地域の医療機関と連携し、その職員の生涯教育に協力する」、「9.地域医療に貢献できる若手医療人の育成に努める」とあります。蘇生教育はその一端ですが、今後とも地域における医療従事者の生涯研修センターとしての役割を担っていきたいと考えています。

※ICLS: Immediate Cardiac Life Support

緊急性の高い病態のうち、特に突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生を習得することを目標とした医療従事者のための実践型の蘇生トレーニングコース

薬剤師の仕事

薬剤師 小槻 千恵子^{こつき ちえこ}



お盆に帰省した時、「私は病院で働いている」と叔父に話したところ、「病院にも薬剤師っているんだ！処方せんをもって調剤薬局に行くようになってから、病院には薬剤師がいなくなったと思ってた。」と言われ、少し悲しい感じがしました。今回は病院での薬剤師の仕事について紹介したいと思います。

南丹病院には、現在13名の薬剤師が在籍しており、病院で働く薬剤師のことを「病院薬剤師」といいます。

10年前に南丹病院でも院外処方箋を発行するようになりましたが、その頃から、病院薬剤師の仕事の内容は大きく変化しました。以前は、外来に来られる患者さまのお薬を調剤することが主な仕事でした。現在でも、入院されている患者さまのお薬の調剤や一部の注射薬や抗癌剤治療薬についても薬剤部で調剤を行っています。患者さまのベッドサイドにお伺いし、お薬の説明をさせて頂いています。患者さまにもご自身が使用されているお薬について知っていただくことで、これまでよりも積極的にご自身の治療に参加していただくことが出来ればと思っています。

入院での治療が必要になった場合、飲み方や飲み合わせ、副作用などお薬について分からないことがあれば、薬剤師ならではの専門性を生かし、病院薬剤師としてより良い治療を皆様提供させていただきますのでお気軽にご相談ください。

緩和ケアの充実をめざして

緩和ケア認定看護師 うすい ひろこ 碓井 寛子

日本看護協会は、高齢化・専門分化が進む医療現場の看護における質の向上を目的に資格制度を発足し、2010年2月現在、21の分野で認定看護師が活躍してい



ます。それぞれ特定の看護分野において、熟練した看護技術を用いて水準の高い看護の実践や指導・相談の役割を担っています。

本院においても感染管理認定看護師（ICN）、皮膚・排泄ケア認定看護師（WOC）、緩和ケア認定看護師が在籍しています。その中の「緩和ケア認定看護師」についてご紹介いたします。

緩和ケア認定看護師とは、がんによる痛みなどの苦痛症状の緩和や、患者さまやご家族の生活の質（QOL）の向上、悲嘆に寄り添う「グリーフケア」について水準の高い看護ができると認定された看護師です。

当院の活動としては、主治医や病棟看護師と連携をしながら、患者さまやご家族が抱えておられる症状（痛み・呼吸困難・消化器症状）、告知に伴う精神的な問題、ご家族の不安などの緩和や痛みコントロールの助言・評価などを目的として、医師・薬剤師・理学療法士と共に週に一度病棟をラウンドしています。その他、いつでもどこでも切れ目なく緩和ケアが受けられることを目指し、患者さまやご家族にご希望を伺いその希望に添えるよう、一緒に考えています。

今年7月には、地域の医療・介護・福祉関係の方々への知識の普及・啓発、情報提供を

目的として、京都府南丹保健所との共催で緩和ケア勉強会を開催しました。今年度4回計画している中、第1回目は「口腔ケアを行うことの意義について」歯科口腔外科医長木村功医師と緩和ケア認定看護師の私が口演を行い、多数の方に参加をしていただきました。

今後も緩和ケアを受けられる方が安心して過ごせるよう質の向上を目指し、京都府南丹保健所、京都府看護協会、亀岡市医師会、船井医師会との共催で勉強会を開催する予定です。

また患者さまやご家族の方のがんにに関する疑問や不安、悩みが少しでも和らぐように「がん相談支援窓口」も開設しております。治療費のこと、緩和ケアに関すること、がんに対する疑問や不安などでお困りのことがありましたら、一緒に考えていきたいと思っておりますのでお気軽にご相談ください。

私は、「緩和ケア認定看護師」として歩き始めたばかりです。これからも人との繋がりを大切に、患者さまやご家族に寄り添いながら、抱えておられる苦痛な症状が少しでも緩和され、その人らしく過ごせ、生きる希望を支えるお手伝いができればと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

相談日時：毎週火曜・木曜（祝・祭日を除く）
14時～16時
電話 0771-42-2510（代）



GPプログラムの学生、病棟での緩和ケア実習を体験中

公立南丹看護専門学校紹介

学校長 ^{つかもと けんじ}塚本 賢治



ピンク色の服を着て（男子はブルー）、何となく頼りないけど初々しい看護師のような人がいることにお気づきですね。彼達^{かれら}は公立南丹看護専門学校の学生達です。入院患者

さんのご協力を得まして、「生」の看護を勉強させていただいております。

皆、生身の患者さんと接することに、緊張し興奮しています。一生懸命やっではいるのですが、所詮、知識や経験不足があり、ご迷惑をおかけして、申し訳なく思っています。本稿では学校の沿革と教育・地域への貢献について簡単に紹介させていただきます。

公立南丹看護専門学校は、昭和15年開校の南丹病院附属看護婦学校に始まり、昭和48年からの公立南丹病院附属高等看護学院を経て、平成15年4月に開校しました。この約70年間の卒業生は1,650名余りにのぼります。現在病院に勤務している看護師の多くは本校の出身であり、本校の卒業生が中心となり、公立南丹病院の看護業務を支えて参りました。平成18年度の診療報酬改定から続く看護師不足（看護師の偏在）は全国的に絶望的な状況となりました。もし本校が無ければ、南丹病院は看護師不足のために病棟閉鎖に追いやられていたことでしょう。



従来の看護師業務は、病院の中だけで見えますと、医師の補助的な業務が中心でした。しかしながら、現在では、病院業務の重要な部門である、緩和医療（がん終末期医療）、褥瘡管理（床ずれ）、人工肛門の管理、医療安全管理（医療事故防止）、栄養管理などで看護師自体が中心的役割を演じるようになっていきます。

さらに、病院外においても、在宅介護、介護施設、障害者施設、老人保健施設、災害医療などで、中心的存在となっています。このように看護師は地域に根差した保健や医療業務を担う重要な人材です。こういった人材は地域で積極的に育てていかなければ南丹保健医療の将来はありません。地域の保健医療活動の担い手を育てるために、看護学生の教育に今後ともご協力よろしくお願い申し上げます。



シリーズ **部門紹介**

【第2病棟2階東】

看護部長 ひらい くみこ 平井 久美子

こんにちは。第2病棟2階東病棟です。私たち「2東」は一般内科48床、結核10床の計58床を有する内科病棟です。主に肺や気管支といった呼吸器系に病気を患っておられる方や、腎臓に病気を患っておられる患者さんが入院されています。

呼吸器系としては、南丹医療圏において唯一結核患者さんの入院治療を行っています。結核は過去の病気と思いがちですが、そのようなことはありません。結核に感染しても、健康で体力があれば、通常は免疫機構が働いて結核菌の増殖が抑えられます。ところが、栄養状態が悪かったり加齢とともに体力が衰えてきたりすると、結核菌に免疫力が負け、発病してしまいます。

入院期間は1ヶ月から3ヶ月ですが、治療には6ヶ月から9ヶ月の間、決められたお薬を一日も欠かさず飲み続けることが必要です。私たちは、治療・療養生活のお手伝いをすると共に、保健師さんとの情報交換を密に行い、退院後の患者さんの服薬継続支援につなげています。また、COPD（慢性閉塞性肺疾患）や肺がんの患者さんの入院も多く、在宅酸素療法や化学療法を数多く経験しています。

腎臓系では、病気診断のための腎生検や、慢性腎不全の患者さんへの食事を含む生活習慣の見直しと自己管理への指導・援助を行っています。腎臓は尿をつくり、不要となった老廃物を一緒に排泄するだけでなく、血液を造ることや血圧にも関係する大切な臓器であることをお伝えし、一緒に勉強しています。また、透析療法を行うための血管手術（シャント造設術）や透析導入（血液透析・腹膜透析）を目的とした入院患者さんへの指導・援助も

行っています。

病棟スタッフは看護師23名、看護助手3名、クラーク1名の計27名です。元気で明るくやさしいスタッフばかりです。患者さんやご家族の皆様にとって入院生活は不安なことばかりだと思いますが、どうぞ何でもお申し出ください。私たちは患者さんご家族の思いをしっかりと受け止め、患者さん中心の専門性の高い看護を提供していきたいと考えています。

みんなのリハビリテーション

自助具紹介…「箸・食器など」

作業療法士 おんむら なおと 恩村 直人

食事に関わる自助具を紹介します。

- ① 箸にばねが付いており持ちやすく、つかみやすい構造になっています。程度にもよりますがしびれや麻痺などあり巧緻性（こうちせい きめ細かい動作）が低下している場合に有効です。
- ② 滑り止めマットを敷くと食器が滑りにくく食べやすくなります。滑り止めが裏に付いている食器もあります。
- ③ 食器の片側に90度近く角度が付いているため、すくいやすい構造になっています。右手で使用するときは角度のある側を左側に置き、左手で使用する時は右側に置くとすくいやすいです。
- ④ 感覚鈍麻や運動麻痺があると物をつかんだときの力の調整が難しく、パックのジュースをつい力を入れすぎてこぼれてしまうことがあります。図のようなアクリルケースに入れるとこぼさず飲むことができます。
- ⑤ 手指機能に障害があり把持しにくい場合は、お椀に手を入れる柄が付いているものを利用すると扱いやすくなります。

業務改善委員会より 患者さまからのご意見・ご感想

業務改善委員会 おぐら たく 小倉 卓

当院では、患者サービスの向上のため、定期的に患者アンケート調査を行うとともに、正面玄関入口と第2病棟3階エレベーター近くに「ご意見箱」を設置しています。

皆さまからいただきましたご意見・ご感想は、職員一同真摯に受け止め、医療サービス・施設環境

等の改善に努めて参りたいと考えております。患者さま・ご家族の皆さまから貴重なご意見に対する回答は、ご意見箱横の掲示板に掲示させていただいております。今後とも当院へのご意見等がございましたらご遠慮なくお寄せください。

患者さまの声	当院の対応
<p>予約時間が大幅に遅れる。 待ち時間短縮に努めてほしい。</p>	<p>ご迷惑をおかけしまして申し訳ございません。改善策の一環として8月より採血開始時間を30分早め、午前8:00からとしました。待ち時間短縮に努めています。</p>
<p>大腸の検査で入院しましたが、同じ検査をする人が同じ4人部屋になるとトイレが重なるので大変だと思います。</p>	<p>ご不便をおかけしまして申し訳ございません。ベッドコントロールで出来るだけ配慮いたします。</p>
<p>尿検査があるため汚れやすいと思いますが、お手洗いの汚れが気になりました。</p>	<p>不快な思いをおかけして申し訳ございません。1日2回定期的に清掃をしていますが委託清掃会社に清掃方法、回数や時間について改善するよう求めました。</p>
<p>付き添い者にも希望があれば病院食ができれば助かるのになぁと思いました。</p>	<p>ご意見いただきありがとうございます。付添食については、一部の患者家族様から要望がございますが、食数の需要予測が困難なこともあり実施しておりません。何卒ご理解下さいますようお願いいたします。</p>





限度額適用認定証

はった ひろあき
医事課長 八田 裕明

◆限度額適用認定証とは？

限度額適用認定証（高額療養費現物給付）は、70歳未満の方の入院料（医療費）の同月1ヶ月あたりの窓口支払額が限度額までとなる制度です。

限度額適用認定証は、申請のあった世帯に交付されますので、70歳未満の方で入院されることが決まりましたら（救急入院も）必ず加入している健康保険の窓口申請してください。

◆医療費の自己負担限度額はいくら？

【70歳未満・国民健康保険加入の方の場合】

区分		通常限度額 (3回目まで)	4回目以降 ^(※3)	交付されるもの
課税世帯	上位所得者世帯 (1年間の所得が 600万円以上)	150,000円 + 1% ^(※1)	83,400円	限度額適用認定証
	一般世帯	80,100円 + 1% ^(※2)	44,400円	限度額適用認定証
住民税非課税世帯		35,400円	24,600円	限度額適用・標準 負担額減額認定証

※1 総医療費が500,000円を超えたときは、超えた分の1%を加算

※2 総医療費が267,000円を超えたときは、超えた分の1%を加算

※3 過去12ヶ月以内に3回以上の高額療養費該当があった場合、4回目以降の自己負担限度額になります。

例) 入院時1ヶ月の医療費が100万円(10万点) かった場合 (課税・一般世帯の場合)

限度額適用認定証を提示すると窓口での負担が自己負担限度の87,430円の支払いで済むようになります。

■自己負担限度額■

$$80,100 \text{円} + (1,000,000 \text{円} - 267,000 \text{円}) \times 0.01 = 87,430 \text{円}$$

(※食事代、個室料、保険適用外分については対象となりません。)

限度額適用認定証の交付を受けるには各健康保険への申請が必要です。制度の詳細や申請方法は、ご加入の健康保険窓口へお尋ね下さい。



menu

治療食のご紹介

Healthy Recipe

治療食(腎臓病食)のご紹介

管理栄養士長 畑 千栄子

腎臓は体内の老廃物を出し、体液中の成分を適度な状態に整え、赤血球の生成や血圧を調節するホルモンなどを作ります。また体の水分量も調節します。このように身体に大切な働きをする腎臓ですが、目立った症状がありません。食事療法では弱った腎臓の機能低下が進行しないように腎臓の保護をします。一般に老廃物などのもとになるタンパク質、高血圧の原因にもなる食塩を制限し、エネルギーは十分摂ります。また病気の進行によっては、リンやカリウムの制限、水分の制限を行う場合もあります。今回の腎臓病食は下記のお知らせからの紹介です。秋らしいものにしました。

◆指示量 エネルギー 1,600kcal、タンパク質 40g、塩分 5g
献立は赤魚の山椒焼ききのごソテー添え、野菜天ぷら三種盛り、酢の物の3品です。



赤魚は白身にしては脂質が多くレチノール、ビタミンEが豊富、肉質は軟らかく旬は冬。きのこ類は血圧、コレステロールの調節、整腸作用、自律神経の調節などの働きやカルシウムの吸収を助ける働きもあります。また、ビタミンB1、B2、ナイアシン、カルシウムなどを含みますが、きのこ類の食材としての価値はそれぞれ独自の香りや味、歯ごたえ舌触りなどの食感にあります。料理の特徴として高エネルギー、低たんぱく食で油脂類、糖分をエネルギーアップのため使用します。ごはんも比較的たっぷり摂ります。味付けは薄味が基本。塩分のある醤油、味噌、ソース類、ドレッシング類などは計量して使用します。

◆材料(1人分)と作り方 (1食分栄養価 エネルギー 551kcal タンパク質 14.8g 塩分 1.1g)

◆赤魚の山椒焼き

- 材料**
- 赤魚 30g
 - 酒 2.0cc
 - (濃口醤油 2.0cc)
 - みりん 2.0cc
 - 粉山椒 少量
 - 油 2.0cc
 - 添え野菜: 赤ピーマン、玉ネギ、シメジ

作り方
赤魚は30gに切り分け、酒、醤油、みりんのたれに15分ぐらい漬け焼く。焼き上げる前に軽くたれを塗り1~2分焼く。添え野菜は赤ピーマン、玉ネギをソテーにし盛り付け、きのこもソテー後盛り付ける。焼きあがった照り焼きを見栄え良く盛る。

◆野菜天ぷら三種盛り

- 材料**
- ナス 15.0g
 - 南瓜 20.0g
 - シシ唐(旬の野菜を使用) 7.0g
 - (小麦粉 8.0g)
 - 卵 5.0g
 - 油 5.0cc
 - 減塩醤油 5.0cc

作り方
野菜は天ぷらに揚げ、盛り付ける。減塩醤油で味をつけ食する。または、天つゆを作ってもよい。

●酢の物

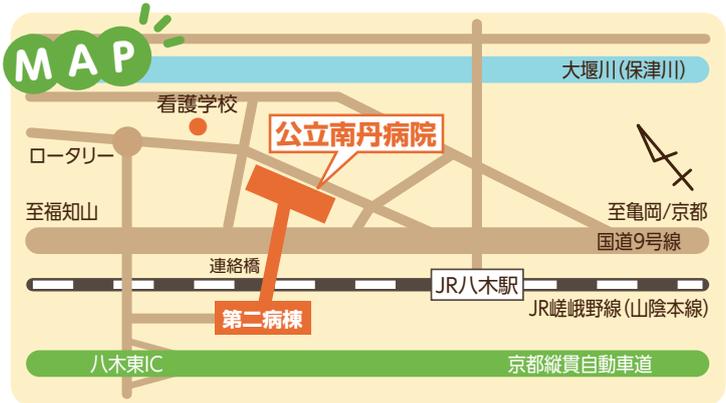
- 材料**
- きゅうり 50.0g
 - 乾燥わかめ 0.3g
 - ゴマ(白) 少量
 - (砂糖 6.0g)
 - 酢 3.0cc
 - 濃口醤油 3.0cc

作り方
きゅうりは揉んでおく(酢揉みなど、塩は使用しない)。わかめはもどしておく。食べる前に和える。塩分の気になる方は甘酢でもよい。ゴマ油、ゆずなど香味料で風味をつけるのも良い。

編集後記

京都府内で「がん地域連携手帳」の運用が始まりました。「連携手帳」を使って、かかりつけ医と病院が協力して、患者さんに対して安全で質の高い医療を提供するツールとして運用されることが望めます。ある開業医の先生に『地域連携を深めるためには、一番に顔の見える関係が大事』と教えていただいたことがあります。その教えのとおり、今後も広報誌とホームページは顔の見えるツールとして、患者さんと診療所と病院をむすぶ架け橋として、皆様に愛されるよう努めて参ります。

(地域医療連携係長: 下西 基文)



表紙のイラスト: 京都新聞提供